



佐渡市立相川中学校

相川中学校では、総合的な学習の時間で「佐渡学」習得の一環として「佐渡おけさ」について学習しています。

佐渡の代表的な伝統芸能である「佐渡おけさ」の歴史を知り、その技能を継承することを旨とし、立浪会や七浦民謡研究会のご協力をいただきながら学習を進めています。レンジャー活動という愛称のもと「ダンシングレンジャー」は踊り、「ミュージックレンジャー」は唄と和楽器演奏の習得に励



鉾山祭りでのおけさ流し



愛広苑での慰問活動

んでいます。

地元で伝わる「鉾山祭り」は、学習の成果を地域に向けて発表する絶好の場面です。この頃になると浴衣も自分で着ることができるようになり、相川中学校の「佐渡おけさ」が完成します。

養護老人施設の慰問活動は、学習の成果を生かす場面です。お年寄りとの交流は、生徒にとっても忘れられない感動を与えてくれます。涙を流して喜んでくださるお年寄りとの交流は、「佐渡おけさを学んでよかった」と思える瞬間です。

相川中学校は、これからも「佐渡おけさ」とともに歩んでいきます。

◆教育委員会学校教育課
(両津支所内)

☎ 23 | 4 8 9 8

佐渡への修学旅行最盛期！

佐渡で民泊体験

6月14日燕市立燕南小学校の6年生38名が、背合地区9件の家庭で民泊の体験を行いました。子ども達は、お世話になる家庭に入り、最初は緊張していましたが、すぐにうちとけ、楽しく夕食のお手伝いをしていました。



上越市の小学生が修学旅行で園児と交流

6月10日、上越市立春日小学校の児童16名は、「夏おじさん」こと夏目修さん（金井・貝塚）から紙芝居の指導を受けた後、相川保育園の園児に紙芝居の読み聞かせを行い、またお互いに振り付けした歌を披露して楽しく交流をしました。



佐渡は、毎年約1万2千人（250校）の修学旅行生が訪れ、6月～7月がその最盛期となっています。

修学旅行も「教育」や「交流」をより重視したものに変わりつつあり、佐渡市では「民泊体験」を取り入れて、2泊以上の長期宿泊と県外からの誘致を旨とし、島内で「300人規模の民泊を受け入れられる体制」の整備を進めているところです。

ご協力いただける集落を募集していますので、集落の活性化策の一つとして、子どもたちの体験活動や民泊の受入れを検討される集落がございましたら、市役所観光商工課体験学習誘致係（第2庁舎 ☎63-5116）へご連絡ください。